

入間基地レポート

カレッジ防衛モニター 西山 望

12月13日、自衛隊カレッジ防衛モニターとして入間基地にてCH-47の体験搭乗に参加した。入間基地とは埼玉県にある航空自衛隊の基地である。また、狭山丘陵の北東、埼玉県狭山市と入間市にまたがって位置しているため各司司令部機能を置く中部防空の要である。それゆえ、航空自衛隊トップの輸送規模を誇り航空輸送人員は年間約85,000人、航空輸送貨物は年間約2,500トンにもなる。

私達が体験搭乗したのはCH-47という大型輸送ヘリコプターで、チヌークという愛称で親しまれている。1度に大量の人間や必要器材などを輸送できるのが大きな特徴である。私達も実際に搭乗してみたが、機内は非常に広く、快適な空の旅を満喫できた。

そして、今回の体験搭乗には私達カレッジ防衛モニターや将来自衛官を志望している人達だけではなく、老若男女、様々な年齢層の方々が参加していたのが印象的だった。こうした活動を通して近隣住民や国民の理解を深めていくのも素晴らしいことであると改めて感じた。

武山駐屯地レポート

カレッジ防衛モニター 西山 望

2月11日に自衛隊カレッジ防衛モニターとして武山駐屯地にて実施されたUH-1Jの体験搭乗に参加してきた。

武山駐屯地とは横須賀市に位置する陸上自衛隊の駐屯地であり、海上自衛隊横須賀教育隊、航空自衛隊武山分屯基地が隣接し、敷地は一体となっている珍しい駐屯地である。

陸海空の基地が隣接しているだけあり、基地内は非常に広く移動はマイクロバスが必須であった。

私達が体験搭乗したUH-1Jとはヒューイという愛称で親しまれている多用途ヘリコプターである。

このヘリコプターはベトナム戦争などで活躍した事が有名であるが、今でもなお日本の陸上自衛隊を含め様々な国で現役である。

日本では陸上自衛隊以外にも各都道府県の警察の航空隊や消防庁、各地方自治体消防本部、海上保安庁などで運用されている。

体験搭乗した感想としては、非常に小回りの効く航空機だと感じた。少し強い風に吹かれても、その影響を微塵も感じさせない快適なフライトだった。もちろんこのUH-1Jの性能だけではなく、陸上自衛隊の優秀な熟練パイロットの腕があつてこそその快適なフライトだったと改めて感じた。

UH-1Jといえば、今でも記憶に新しい鬼怒川大氾濫を思いだす。鬼怒川が決壊した際、救助に当たったヘリコプターの中にこのUH-1Jもある。各報道機関の記事で自衛隊の活躍を目にした方も多かったろう。

やはり、日本に自衛隊がいる心強さを痛感した人も少なくは無い筈だ。勿論私もその1人である。自衛隊あつてこそその日本、やはりこの国には自衛隊が必要であると思ひ知った1日であった。